

コンズランゴ

Condurango

CONDURANGO CORTEX

本品は *Marsdenia cundurango* Reichenbach fil. (*Asclepiadaceae*) の樹皮である。

性状 本品は管状又は半管状の皮片で、厚さ 0.1 ~ 0.6 cm、長さ 4 ~ 15 cm である。外面は灰褐色~暗褐色、ほとんど平滑で多数の皮目を帯びるか、又は多少りん片状できめがあらわい。内面は淡灰褐色を呈し、縦線がある。折面の外側は繊維性であり、内側はおおむね粒状である。

本品はわずかに弱いにおいがあり、味は苦い。

本品の横切片を鏡検するとき、コルク層は数層の薄膜の細胞からなる。一次皮部には多数の石細胞群があり、二次皮部には一層のでんぷんしょうに内接して、ところどころに師部繊維束があり、両皮部には連合乳管が散在する。柔細胞はでんぷん粒又はシュウ酸カルシウムの集晶を含む。でんぷん粒の径は 3 ~ 20 μm である。

確認試験 本品の粉末 1 g を水 5 mL で冷浸してろ過した澄明な液を加熱するとき、液は混濁し、これを冷却するとき、再び澄明となる。

純度試験 異物 本品は木部及びその他の異物 2.0 % 以上を含まない。

灰分 12.0 % 以下。

コンズランゴ流エキス

Condurango Fluidextract

製法 本品は「コンズランゴ」の中末をとり、「精製水」/「エタノール」/「グリセリン」混液 (5:3:2) を第 1 浸出剤、「精製水」/「エタノール」混液 (3:1) を第 2 浸出剤として、流エキス剤の製法により製する。

性状 本品は褐色の液で、特異なおいがあり、味は苦い。

確認試験 本品 1 mL に水 5 mL を混和し、必要ならばろ過し、澄明な液を加熱するとき、液は混濁し、これを冷却するとき、再びほとんど澄明となる。

貯法 容器 気密容器。

サイコ

Bupleurum Root

BUPLEURI RADIX

柴胡

本品はミシマサイコ *Bupleurum falcatum* Linné (*Umbelliferae*) の根である。

性状 本品は細長い円すい形~円柱形を呈し、単一又は分枝し、長さ 10 ~ 20 cm、径 0.5 ~ 1.5 cm、根頭には茎の基部を付けていることがある。外面は淡褐色~褐色で、深いしわがあるものもある。折りやすく、折面はやや繊維性である。

本品は特異なおいがあり、味はわずかに苦い。

本品の横切片を鏡検するとき、皮部の厚さは半径の $\frac{1}{3}$ ~ $\frac{1}{2}$ で、皮部にはしばしば接線方向に長い裂け目があり、径 15 ~ 35 μm の胞間性離生油道がやや多数散在する。木

部には道管が放射状若しくはほぼ階段状に配列し、ところどころに繊維群がある。根頭部の髓には皮部と同様の油道がある。柔細胞中にはでんぷん粒及び油滴を認める。でんぷん粒は単粒又は複粒で、単粒の径は 2 ~ 10 μm である。

確認試験

(1) 本品の粉末 0.5 g に水 10 mL を加え、激しく振り混ぜるとき、持続性の微細な泡を生じる。

(2) 本品の粉末 2.0 g にメタノール 10 mL を加え、還流冷却器を付け、水浴上で 15 分間穏やかに煮沸し、冷後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフ用サイコサポニン a 1 mg をメタノール 1 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 10 μL ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次にクロロホルム/メタノール/水混液 (30:10:1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに硫酸/エタノール (95) 混液 (1:1) を均等に噴霧し、50 °C で 5 分間加熱するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは、標準溶液から得た青色のスポットと R_f 値が等しく、また、その色調は青色~青紫色を呈する。

純度試験

(1) 茎葉 本品は茎及び葉 10.0 % 以上を含まない。

(2) 異物 本品は茎葉以外の異物 1.0 % 以上を含まない。

灰分 6.5 % 以下。

酸不溶性灰分 2.0 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 11.0 % 以上。

サイシン

Asiasarum Root

ASIASARI RADIX

細辛

本品はウスバサイシン *Asiasarum sieboldii* F. Maekawa 又はケイリンサイシン *Asiasarum heterotropoides* F. Maekawa var. *mandshuricum* F. Maekawa (*Aristolochiaceae*) の根及び根茎である。

性状 本品はほぼ円柱形の根茎に多くの細長い根を付けたものである。外面は淡褐色~暗褐色を呈する。根は長さ約 15 cm、径 0.1 cm、浅い縦じわがあり、折れやすい。根茎は長さ 2 ~ 4 cm、径 0.2 ~ 0.3 cm、しばしば分枝し、縦じわがある。一端には葉柄、時には花柄又は芽を付けていることがあり、節間は短く、各節には葉柄や花柄の跡及び細長い根を数本ずつ付ける。

本品は特異なおいがあり、味は辛く舌をやや麻ひする。

純度試験

(1) 地上部 本品は葉及び葉柄などの地上部は認めない。

(2) 異物 本品は地上部以外の異物 1.0 % 以上を含まない。

灰分 10.0 % 以下。

酸不溶性灰分 3.0 % 以下。

精油含量 本品の粉末 30.0 g をとり、精油定量法により試験を行うとき、その量は 0.6 mL 以上である。